

1. 教育計画

人間と生活・社会の理解

分野	基礎分野 人間と生活・社会の理解	科目名	倫理学
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	1 年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	外部講師 小原 拓磨 (28 時間)		
学習目標	現代の社会問題を倫理的な観点から理解するとともに、生命や医療にまつわる倫理的問題を知ることができる。また、看護倫理についてのグループワークを通じて、相手の意見を正しく理解し、自分の意見も正しく伝えられるようになることを目指す。		
成績評価方法	授業終わりのコメントペーパーの内容 30%、試験 70%		
使用テキスト	なし (適宜、プリント資料を配布します。)		
参考文献	そのつど指示します。		
履修上の留意	複雑な問題が多いため、集中力を必要とします。		
講師からの メッセージ	倫理学は知識の習得ではなく、習得した知識の「正しい使いかた」を考える学問です。この授業を通じて、正しい振る舞いかたを探してみましよう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	イントロダクション	倫理学の基本的な観点を知る。	講義	
2	2	【グループ討論】	実習場面を分析し、倫理的要点を知る:「骨折事故」「ささいな世間話でも…」	講義	
3	2	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの基本を学ぶ。	講義	
4	2	【グループ討論】	実習場面を分析し、倫理的要点を知る:「沐浴での注意点」、「セクハラへの対応」	講義	
5	2	医療における暴力と服従心理	権威 (上下関係) が人に及ぼす影響と、倫理的な態度の重要性を学ぶ。	講義	
6	2	【グループ討論】	実習場面を分析し、倫理的要点を知る:「こどもの患者への配慮」「おむつの扱い」	講義	
7	2	コミュニケーションの倫理	コミュニケーションの本質を知り、「傾聴」ということの倫理的意味を考える。	講義	
8	2	【グループ討論】	実習場面を分析し、倫理的要点を知る:「私物への注意」「家族への配慮」	講義	
9	2	QOL と宗教	命を守ることと、信仰 (QOL) を尊重することとのジレンマを考える。	講義	
10	2	【グループ討論】	実習場面を分析し、倫理的要点を知る:「好意への対応」「平等と公平」	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
11	2	安楽死と尊厳	安楽死の基本を知るとともに、「尊厳」についての日本と世界の認識の違いを知る。	講義	
12	2	【グループ討論】	出生前診断の当事者の想いを考察する。	講義	
13	2	障害と優性思想(1)	出生前診断の現状と、優性思想による犯罪とその価値認識を知る。	講義	
14	2	障害と優性思想(2)	障害についての価値認識を考え直す。	講義	
15	2	記述・論述試験	指定の課題に対して解答する。	試験	